



さんにとちだより

荒川区立第三日暮里小学校

発行日 令和3年9月30日

発行者 校長 末永 寿宣

10月号

学校目標
考える子
たくましい子
思いやりの
ある子

三日小の「ものづくり体験」／芸術の秋を感じる ～図工・家庭科の作品作りを通して

校長 末永 寿宣

図工や家庭科、生活科等を通して、子どもたちはアイディアを駆使し、作品を作っています。学習活動としての作品作り、夏休みの自由研究など、あらゆる場面で「ものづくり」を体験することで、作る楽しさを味わい、興味・関心が高まります。この機会に、私たち大人が、子どもの得意なことを認めたり、仕事や職業について話し合ったり、調べてみたりすることで、将来の仕事や職業に対して意識を高めることができます。



詳しくは、
三日小 HP へ

本校では、東京芸術大学と連携した教育活動にも取り組んでいます。「芸術の秋」を感じる作品作りを工夫し、「三日小の特色ある教育活動」を実践してまいります。以下9月に活動した内容を振り返ります。

○1年生「あめ おいしい！」



▲自分の似顔絵をかいて、自分の手形を切り抜いて、好きなものを食べている様子を立体で表現します。平面の絵と立体の食べ物とがまざりあって、ユニークな作品に仕上がります。

○2年生「かぶって へんしん」



▲お面を被る自分の姿をイメージしながら、素敵な作品の完成を目指して取り組んでいます。独創的な作品に仕上がってきました。

○生活科「動くおもちゃをより良くしよう」



▲どこをどう工夫すれば、良くなるか？「じょうぶにしたいけれど」、試行錯誤が続きます。辛抱強く、改良します。

○3年生「ふしぎな乗り物」



▲思いついた不思議な乗り物を描いています。カタツムリや鰻に自分が乗って、縦横無尽に動き回る絵も登場しました。子供の発想は、実に豊かです。

○4年生「ほって すって 見つけて」



▲彫刻刀の正しい使い方を学んでいます。三角刀と丸刀を使って、両手で持つこと、まっすぐ前に刀を進ませることがポイントです。子どもたちは集中し、作品に向き合っています。

○5年生「3D ワンダーランド」



▲電動のこぎりを使って、板を思い思いの形に切り抜き、重ね合わせることで、遠近を出します。自分が描いた設計図を元に、遠・中・近を部品として取り出します。

○6年生「れんがのお城」



▲テラコッタの粘土を使って、素焼きの焼き物を作っています。素材の煉瓦をつくり、自分が想像する建造物をつくりあげます。

○6年生「あおもり縄文フヱット」



▲ 図工の時間にグループごとに編み上げた漁網をつなぎ、円の中心に収めました。苦勞したけれど、丁寧に編んだ漁網は、芸術作品としても立派です。

○家庭科「刺し子ブックカバー作り」



▲ミシンで布の端を縫い、仕上げます。苦勞した分だけ、愛着がわくでしょう。完成が楽しみです。

○夏休みの作品「始業式でお披露目」



▲夏休みの自由作品を机の上に大切に置いて、報告の出番を待っています。趣向を凝らした作品が出揃いました。

2学期、9月の主な取り組みをご紹介しました。「学校の新しい生活」を安全に、より充実させるため、新型コロナウイルス感染症を予防しながら、「学びを止めない」ために最善を尽くします。今後とも、保護者・地域の皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。